科目ナンバリング	U-LAS06 10002 LJ41						
授業科目名<英訳>	法学 Jurisprudence			担当者所属職名・氏名	地球環境学舎 教授　　宇佐美　誠		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

私たちの生活は、法制度に支えられて成り立っている。さまざまな法制度を深く理解し、正しく評価するためには、正義・自由・平等などの公共的理念に対する正確な理解が不可欠となる。本科目では、法学的観点から、公共的理念をめぐる重要な論点や学説を平易に概説する。

本科目では、履修者数が極めて多数とならない限り、質疑・討論の時間をやや長めに確保する。履修者数が極めて多数に上る場合には、質疑・討論の時間を設けない。

[到達目標]

公共的理念に対する正確な法学的理解を習得し、自ら考察を深めることにより、法制度に関する規範的な分析力・構想力を鍛錬することが、本科目の目的である。

[授業計画と内容]

次の主題について授業を行う。

1. 序論：法制度における公共的理念【1回】
2. 幸福：法は幸福を最大化するべきか【2〜3回】
3. 正義：正義に適った社会とは何か【3〜4回】
4. 平等：何の平等か、どこまでが個人の責任か、平等は本当に望ましいか【4〜5回】
5. 自由：再分配は自由の敵か【1〜2回】

授業回数は、フィードバックを含めて全15回とする。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

○履修者数が極めて多数とはならない場合
質疑・討論における各履修者の発言を、質・量の両面から厳密に評価して記録し、授業参加点を算出する。出席による加点はないが、欠席・遅刻・早退は減点対象となる。

授業参加点（50%）と授業期間中に実施する2回の小テスト（25%×2）の点数とを合計して、最終成績を確定する。

○履修者数が極めて多数に上る場合
授業期間中に実施する中間試験（50%）と期末試験（50%）の点数を合計して、最終成績を確定する。

法学(2)へ続く↓↓↓

法学(2)

[教科書]

宇佐美誠・児玉聡・井上彰・松元雅和 『正義論：ベーシックスからフロンティアまで』（法律文化社）ISBN:978-4-589-04028-2

[参考書等]

（参考書）
瀧川裕英・宇佐美誠・大屋雄裕 『法哲学』（有斐閣）
宇佐美誠 『その先の正義論』（武田ランダムハウスジャパン）

[授業外学修（予習・復習）等]

○履修者数が極めて多数とはならない場合
履修者は、十分な予習に基づく積極的な発言を期待される。

○履修者数が極めて多数に上る場合
履修者は、十分な予習を行うことを期待される。

[その他（オフィスアワー等）]

質疑・討論の時間が設けられる場合には、教室で自由に発言する楽しさを味わってほしい。

第1回授業で、出席者数を勘案して授業方法を確定し、その詳細な説明を行うので、履修希望者は必ず出席すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]